

# 学校机の改善案について

宮城県仙台第三高等学校 38班

## 1. 背景と目的

「**机が狭い**」  
こう思ったことはないだろうか  
現状...琉球大学の調査によると  
約1200人中、約7割の生徒が狭いと感じる  
私達は  
・机が狭いと思わない学習  
を実現させるために学校机の改善案について提示します！！

## 2. 調査

この問題を解決するために  
現在販売されている机のアタッチメントについて調査  
↓  
**生徒**の目線から分析  
↓  
改善案の提示

## 2.5.先例の分析

例:コクヨ「**つくえ+**(たす)」 ティーファブワークス「**天板拡張くん**」



この他にも調べた結果... ほとんどの机の天板に**直接取り付け式**

しかしそれでは

**邪魔**になる場面(掃除など)があったり

腕の可動域の面から端まで座って**使えない人**の問題が生まれてしまう  
↓  
そこで私達は「**横、収納**」に着目

横に取り付ける→可動域をうまく活かせる  
収納式→本来の机の機能を失わずにできる

## 3.新アタッチメント「パカパカ」

これらのことを踏まえ、私達は  
学校机の新アタッチメント「**パカパカ**」を作成しました

名付けの理由...

パカパカ開くことができ、  
柔らかい言葉を使うことで  
多くの人に親しんでもらうため

詳しくは紹介動画を御覧ください  
このQRコードからいただけます



## 4.実験、結果

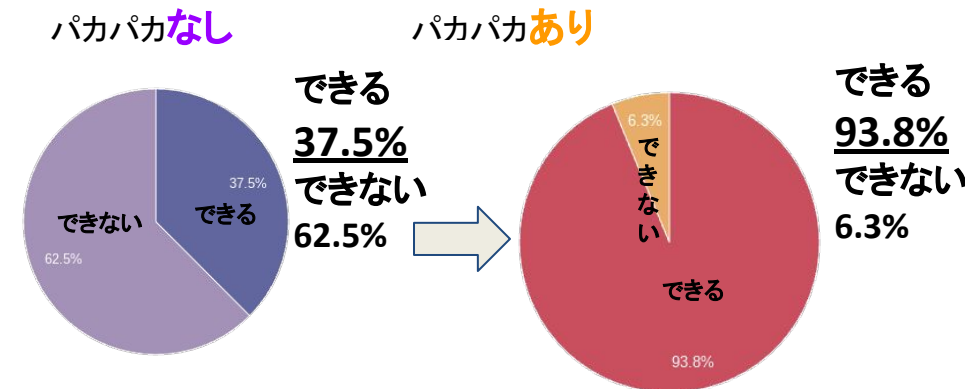
実験として

①「**授業の各教科で使うもののすべてをそれぞれ  
机上に並べることができるのか**」

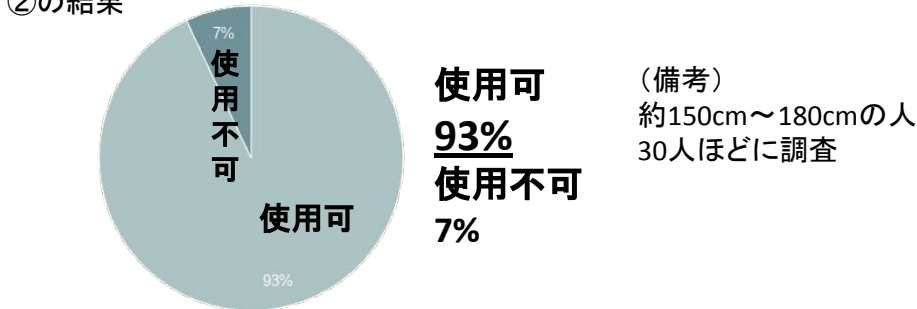
②「**パカパカの腕の長さ関係なく使えるのか  
(パカパカの端にあるものを座りながら持ってこれるのか)**」

この2つを行いました！！

①の結果(全16科目)



②の結果



広さ(使用前)	並べられる教科が少ししかない
広さ(使用后)	ほぼ全ての教科で並べられる
使用条件	特になし、ほぼ全員が使用可
使用感	座っているときに少し違和感がある
まとめ	広さ十分であり、誰もが使えるが座ってるとき違和感

## 5.展望

実験の結果から  
「机が狭いと思わない学習が実現できる」ということがわかったが**母数がまだまだ少なく、班員の身近な人だけ**なので、今後はいろいろな人に体験してもらい、データを集めていきたい。また、耐久性を考慮してなかったの**で耐久値の強化**も行いたい。

## 5. 参考文献

- 1) [新たな学校施設づくりのアイデア集](#)
- 2) [つくえ+\(つくえたす\) | 製品情報 | コクヨの教育空間づくり](#)
- 3) [学校教室用机・いすの周囲に必要な動作スペースの計測](#)
- 4) [学習環境とその効果](#)
- 5) [教室デザインが与える成績](#)
- 6) [新・学びのデスク「ひろがりくん」\(学童机専用\)](#)
- 7) [教育投資の費用対効果に関する基本的な考え方及び文献の収集・整理①](#)
- 8) [学校用家具の現状と改善点 普通教室用机・椅子に関する実態調査](#)
- 9) [つくえ+グッドデザイン賞](#)